

区立施設マネジメント計画に関する ワークショップ

～浜田山駅周辺の老朽化した区立施設への対応等に関する検討(第5回)～

令和6年9月6日(金)
杉並区政策経営部企画課
施設マネジメント担当

ワークショップ全体のスケジュール・テーマ等

	回	日程	テーマ(予定)
情報共有 土台作り	第1回	4月26日(金)	ワークショップの目的、施設マネジメントの内容、対象施設について知ろう！
	第2回	5月24日(金)	対象施設を取り巻く状況や建替時に生じる課題について考えよう！
具体的な取組案 (プラン)の検討	第3回	6月24日(月)	第1回～第2回で出た意見を踏まえて区が作成した複数プラン(たたき台)をもとに、各プランの良いと思う点、改善が必要な点、解決策等を意見交換しよう！
	第4回	7月16日(火)	第3回で出た意見や追加情報等を踏まえて、各プランについて意見交換しよう！参加者全員で意見・考えを共有しよう！
	第5回	9月6日(金)	第4回までの意見や地域意見交換会、施設利用者等から出た意見を踏まえて、ワークショッププランをまとめよう！全5回のワークショップを振り返って、感想等を共有しよう！

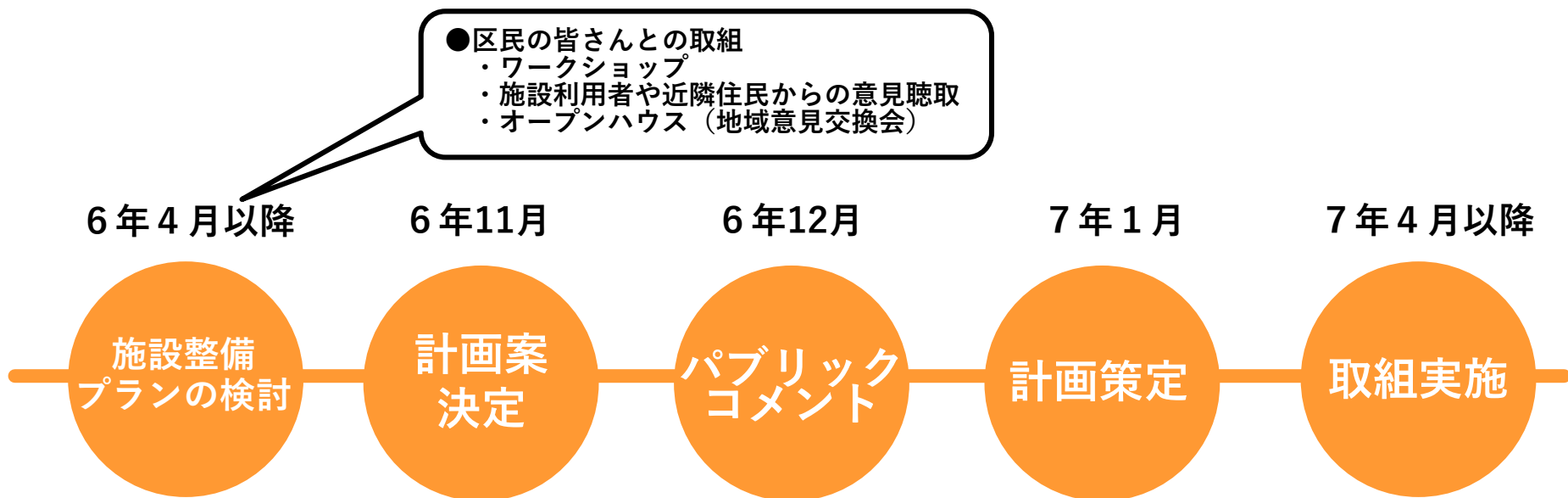
※進捗に応じて回数や内容が変更になる場合があります。

○ワークショップ参加者以外の方の意見を聞いていくため、第4回と第5回の間、対象施設の周辺住民等を対象とした意見聴取(ポスティング)【7月中旬～】を実施するとともに、地域意見交換会(オープンハウス)【8月2日】を開催しました。また、検討対象施設の利用者等に対しても、意見聴取を実施しました。

○ワークショップや地域意見交換会(オープンハウス)、ポスティングによる意見聴取等でいただいた意見を踏まえ、最終的には区が計画(案)に記載する取組案を決定します。

今後のスケジュール

ワークショップに参加された皆さんと一緒に検討してきた内容や地域意見交換会等でいただいた意見等を踏まえて作成したワークショッププランをもとに、区が計画案(施設整備スケジュールを含む)を決定し、今後は以下のような行程で、区の計画事業として取組を実施する予定です。



本日(第5回)のプログラム

時間(予定)	内容
18:00~18:05	本日のプログラムの説明
18:05~18:15	区からの説明①(ワークショップのテーマ・ゴール、前回の振り返り)
18:15~18:30	区からの説明②(地域意見交換会等で出た意見の紹介)
18:30~18:40	区からの説明③(検討まとめの作成について)
18:40~19:00	グループワーク① (ワークショッププランと主な意見の内容について意見交換)
19:00~19:30	グループワーク②(プランの決定等に当たって、区に大事にしてほしいこと)
19:30~19:40	休憩
19:40~20:40	全体共有(全5回のワークショップを通した感想等の共有)
20:40~20:50	事務連絡・区からのあいさつ

※会の進捗に応じて、時間が変更になる場合がございます。

区からの説明①

- ・本日のワークショップのテーマ・ゴール
- ・前回の振り返り

本日のテーマとゴール

(テーマ・ゴール)

- ・検討のまとめに向けて、ワークショッププランやワークショップ参加者以外の意見について意見交換しよう！
- ・全5回のワークショップを振り返って、感想等を共有しよう！



ワークショッププラン① (集会施設を集約するプラン)



【各諸室等の面積試算】

保育園の園庭面積(有効面積):約300㎡程度
 <参考> 現在の保育園の園庭面積(有効面積):320㎡
 認可基準を満たす園庭面積:224.4㎡

【コスト試算】(区立施設再編整備計画(第2期)で計画化していたプランとの差額部分)

整備コスト:約6,800万円
 ※A地点にケア24を整備した場合の整備コスト
 ※ケア24浜田山の仮移転先によっては施設改修等の整備コストが必要となる場合あり

【ケア24浜田山の仮移転先(A地点に整備されるまでの3~4年程度)】

ケア24浜田山管轄地域の区立施設(例:高齢者活動支援センター(高井戸地域区民センター併設)) 等

ワークショッププラン①	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度
高井戸東保育園			解体設計	解体工事			◎新園舎開設(ケア24併設)	新園舎での保育園運営	
ゆうゆう高井戸東館					◎機能継承or移転				
浜田山会館			改修設計	改修工事	◎改修完了	集会施設(コミュニティふらっとor浜田山会館+ゆうゆう館)として運営			
ケア24浜田山					◎仮移転先でのケア24運営		◎新施設開設(保育園併設)	新施設でのケア24運営	
旧保育室浜田山東		解体設計	解体工事	仮設園舎設計	仮設園舎工事	保育園の仮設園舎として運営	仮設園舎解体		跡地活用検討

※調整中の部分を含んでおり、今後の検討によっては内容に変更が生じる場合があります。

ワークショッププラン②（保育環境の充実を図るプラン）



【各諸室等の面積試算】

保育園の園庭面積(有効面積): 現在と同等以上

【コスト試算】(区立施設再編整備計画(第2期)で計画化していたプランとの差額部分)

<C地点にゆうゆう館(200㎡程度を想定)を整備した場合>

整備コスト: 約1億1,500万円 運営コスト: 約800万円/年

<C地点にコミュニティふらっと(600㎡程度を想定)を整備した場合>

整備コスト: 約3億8,600万円 運営コスト: 約2,200万円/年

【新たな集会施設が整備されるまでの高齢者の活動場所(C地点に整備されるまでの4~5年程度)】

浜田山会館、高齢者活動支援センター(高井戸地域区民センター併設)、コミュニティふらっと成田、コミュニティふらっと永福 等

ワークショッププラン②	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度
高井戸東保育園			解体設計		解体工事			新園舎での保育園運営	
ゆうゆう高井戸東館									
浜田山会館					◎仮移転				
ケア24浜田山									
旧保育室浜田山東		解体設計	解体工事						
			仮設園舎設計	仮設園舎工事					
					保育園の仮設園舎として運営		仮設園舎解体		
						集会施設+α設計		集会施設+α工事	
									◎

※調整中の部分を含んでおり、今後の検討によっては内容に変更が生じる場合があります。

ワークショッププラン③ (現在の施設配置を維持するプラン)



【各諸室等の面積試算】

保育園の園庭面積(有効面積): 約260~300㎡程度
 ゆうゆう高井戸東館諸室:
 <現在> (洋室1)57.4㎡ (洋室2)31.1㎡ (洋室3)18.9㎡ 計107.4㎡
 <整備後> 計90㎡程度の諸室を整備可能 (例) 約30㎡×3部屋

【コスト試算】(区立施設再編整備計画(第2期)で計画化していたプランとの差額部分)

整備コスト: 約1億2,700万円 運営コスト: 約900万円/年
 ※A地点にゆうゆう館を整備した場合の整備コスト

【ゆうゆう高井戸東館仮移転中の高齢者の活動場所(A地点に整備されるまでの2~3年程度)】

浜田山会館、高齢者活動支援センター(高井戸地域区民センター併設)、コミュニティふらっと成田、コミュニティふらっと永福 等

ワークショッププラン③	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度
高井戸東保育園			解体設計	解体工事			新園舎での保育園運営		
ゆうゆう高井戸東館				新園舎設計	新園舎工事		◎新園舎開設(ゆうゆう館併設)		
浜田山会館					◎仮移転	ゆうゆう館の仮移転先の一つとして運営			
ケア24浜田山		浜田山会館と同様のスケジュール							
旧保育室浜田山東		解体設計	解体工事	仮設園舎設計	仮設園舎工事	保育園の仮設園舎として運営	仮設園舎解体	跡地活用検討	

※調整中の部分を含んでおり、今後の検討によっては内容に変更が生じる場合があります。

区からの説明②

地域意見交換会等が出た意見の紹介

地域意見交換会等の開催による意見聴取の概要

- ワークショップの内容について、以下の方法で近隣住民や各施設を利用されている方々の意見をお聞きしました。

実施概要

7月16日(火)	ゆうゆう高井戸東館利用者からの意見聴取 対象:ゆうゆう高井戸東館利用者
7月31日(水)	下高永福地区民生委員からの意見聴取 対象:下高永福地区民生委員(ケア24浜田山関係者)
8月 2日(金)	地域意見交換会(オープンハウス形式) 対象:近隣にお住まいの方を想定 (近隣へのポスティング、区ホームページ、広報すぎなみ、区公式SNSなどで参加を呼びかけ)
8月 5日(月) ~8月 9日(金)	浜田山会館におけるパネル展示 対象:浜田山会館利用者
8月13日(水)	ケア24浜田山事業者からのヒアリング 対象:ケア24浜田山の運営事業者
8月19日(月) ~8月21日(水)	ゆうゆう高井戸東館におけるパネル展示 対象:ゆうゆう高井戸東館利用者
9月 4日(水)	高井戸東保育園利用者との意見交換会 対象:高井戸東保育園利用者
随時	区公式ホームページにおける意見受付

地域意見交換会(オープンハウス形式)等でいただいた主な意見①

- 8月2日(金)に地域意見交換会(オープンハウス形式)を開催し、ワークショップに参加していない方からも、この取組に関してご意見をいただきました。
- また、地域意見交換会で展示・配布した資料を区の公式ホームページに掲載しウェブアンケートを実施したほか、8月5日(月)～9日(金)まで、浜田山会館におけるパネル展示により、ご意見を募集しました。
- 以上の意見募集の結果、以下のようなご意見をいただきました。

分類	意見
施設整備において、大事にしたいことや大切にすべき視点	地域の中にある課題を解決できること。
	地域のすべての世代の福祉と活動をより良くすることに資する整備をめざすこと。
	現在の場所を変えないようにしてほしい。
	気軽にかけられる施設にしてほしい。
	集約されることで利用者が住んでいるところから遠くなり、不便とならないようにしてほしい。また、場所が減ることで利用できる機会が減ると思うので考慮してほしい。
	保育や高齢者向けの視点も大事だが、それ以外の世代も大切。
	若いファミリー層が増えているので、保育園の充実が必要。元気な高齢者も多いので、ゆうゆう館と浜田山会館の合併がいいのでは。
	プラン①～③いずれでも良いが、早期着工を願う。
	ゆうゆう高井戸東館の代わりに浜田山会館を利用できたら一番良い。 浜田山会館を気軽に使えると一番良い。

地域意見交換会(オープンハウス形式)等でいただいた主な意見②

分類	意見
プラン① について	C地点(旧保育室浜田山東敷地)の使い道をこれから議論できるのが良い。 高齢者福祉はどうなるのか、おいてけぼり感。活動拠点というより、居場所として無料で居られることが大事ではないか。
	ゆうゆう館もケア24も移動することになり、利用している高齢者にとっては負担感が強い。
	集会施設が広くなるのは良いが、工事期間が長引くのは良くない。
プラン② について	ホールの維持は貴重であり、ケア24の継続は良い。 A地点(高井戸東保育園敷地)が保育園単独となり、三地点の真ん中の集会施設がなくなることは、高齢者はもとより、各世代にとっても後退となる。
	保育園はかなり充実していると思うので必要ない。
プラン③ について	配置の変更が軽微なうえ、C地点(旧保育室浜田山東敷地)の活用について、状況の推移等を踏まえた十分な検討が可能。
	園庭が小さくなることは望ましくない。
	現在の施設配置をそのまま運営してほしい。
	現在の場所を維持してほしい。

ゆうゆう高井戸東館利用者からいただいた主な意見

- 高井戸東保育園を現在の敷地で改築する場合、保育園の延べ床面積が増加するため、ゆうゆう高井戸東館は現在と同規模の面積を確保することが難しくなります。
- ゆうゆう高井戸東館利用者の活動場所を適切に確保する観点から、浜田山会館等の周辺施設の活用も含めた検討が必要です。
- この検討にあたって、ゆうゆう高井戸東館の利用者の方と意見交換会やパネル展示により、以下のような意見をいただきました。

今のゆうゆう館の場所に戻るなら、それが良い。

プラン①で活動場所が浜田山会館に移る場合は、ゆうゆう館という名を残してほしい。他の世代と一緒に望ましくない。

活動場所が複数あるとうれしい。

小さくなくても良いので、同じ場所にゆうゆう館を建ててほしい。

プラン②で活動場所が旧保育室浜田山東に移ることは、駅から遠すぎるため苦情が出るだろう。

単身高齢者が他者とコミュニケーションを取れる場を確保してほしい。

特に現在の場所にこだわってはいない。同じように使用できれば、名称も場所もこだわりはない。

プラン②で、C地点に施設が完成するまでに4～5年かかるのは反対。

記載の意見以外にも様々な意見をいただきました。

ケア24浜田山の関係者からいただいた主な意見①

○これまでのワークショップにおいて、ケア24浜田山については、プラン①では高井戸東保育園との併設施設として整備、プラン②、③では現在の場所に存置といった内容で検討してきました。
この検討の内容について、地域の民生委員の方やケア24浜田山の運営事業者の方から、以下のような意見をいただきました。

<下高永福地区民生委員からの意見>

○ケア24が浜田山会館から移転することには反対

【理由】

- ・「浜田山会館にケア24がある」ということが地域で認知されており、今になって場所を変えてほしくない。
- ・浜田山会館併設の現在の場所は、駅から近く、通行しやすく、道案内もしやすい。駐車・駐輪スペースがあり、足の不自由な利用者も来所しやすい。
- ・ケア24が保育園に併設された場合、来所するには、道幅が狭く、交通量も多く安全に行きにくい。また、駐車・駐輪スペースが十分に取れないと来所しづらくなる利用者も出てくる。

ケア24浜田山の関係者からいただいた主な意見②

<ケア24浜田山の運営事業者からの意見>

ワークショッププラン①について(ケア24は高井戸東保育園の併設施設として整備)

良い点	<ul style="list-style-type: none">・ワークショッププラン②・③同様、区立施設に入れることは運営上ありがたい。・3～4年の仮移転先が圏域内の区立施設(高齢者活動支援センター(高井戸地域区民センター併設)等)となることは、法人として受託する上では問題ない。
懸念点 及び要望	<ul style="list-style-type: none">・家族の相談に来る方や車いすを借りに来る方が、車で来所することもあるので、駐車スペースは必要。・駐輪場は、安全面から保育園利用者と分ける必要がある。・ケア24は1階への設置を希望する。分かりやすい導線かつ安全面の配慮が必要。・慎重な対応が必要な来所(相談)者の場合もあるので、併設の保育園に対して防音・安全性への配慮を行う必要がある。

ワークショッププラン②、③について(ケア24は現在の場所に存置)

良い点	<ul style="list-style-type: none">・現状と変わらず運営できることが良い。・集会施設とケア24が併設されている方がメリットがある。相談の案件によっては、集会施設の団体につなぐきっかけにもなる。
懸念点 及び要望	特になし

法人としての希望

- ・現在の場所に存置されることを希望している。保育園との併設となった場合、ソフト面(安全性)の課題がクリアできるかに懸念があり、同じ福祉系の施設とはいえ、ニーズが違うのでトラブルが不安。
- ・民間賃貸物件の利用は厳しい。初期費用が高額な点や、賃貸物件のオーナーが変更となった場合に退去リスクがある。(法人の他事業では、オーナー変更に伴い、大幅な家賃の値上げや事業撤退となったこともある。)

高井戸東保育園利用者からいただいた主な意見

- ワークショッププランにおいて、高井戸東保育園は、旧保育室浜田山東跡地に仮設園舎を整備し、現在の用地で改築を行うこととしています。
- ワークショッププラン①～③において、現在在園中の0歳児、1歳児が4歳児、5歳児となる令和10年度に仮設園舎に移転する可能性があります。
- この検討の内容について、高井戸東保育園の利用者の方々と懇談会を行い、以下の意見をいただきました。

<ワークショッププランに関する意見>

- 今の在園児は新園舎に戻ってこれない。
- ケア24との併設はメリットを感じない。
- ゆうゆう館との交流があるのであれば、ゆうゆう館との併設がよいのではないか。
- 他施設との併設になるのであれば、併設するメリットが感じられるようにしてほしい。
- C地点は仮設ではなく本設で仮園舎を建てれば、保育園の利用後も活用でき、無駄がないのではないか。
- 早く建替えてほしい。

<仮設園舎に関する意見>

- 仮設園舎への移転によって通園距離が遠くなる世帯への措置を検討してほしい。
- 仮設園舎の仕様や園庭の有無、安全性等の情報が知りたい。
- 送迎時の安全に配慮した設計にしてほしい。
- 現在の0,1歳児は仮設園舎で卒園を迎えることになるため、移転して環境が変化しても、子どもたちが楽しく過ごせるようにしてほしい。

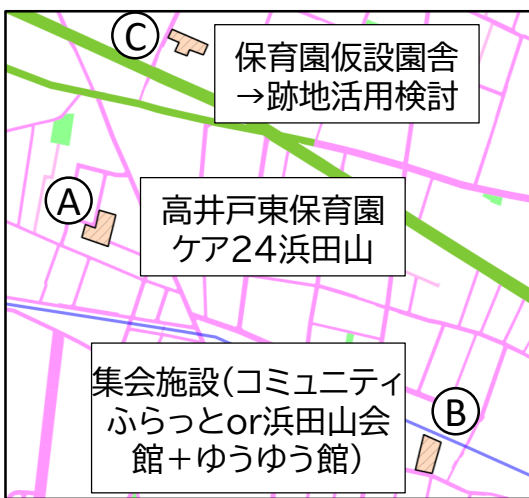
区からの説明③

検討まとめの作成について

※今後、区では、この間のワークショップで説明してきた内容(基礎資料やプランなど)や参加者の皆さんからの意見に加え、ワークショップ参加者以外(施設利用者等)の意見をとりとまとめた「検討まとめ」を作成する予定です。

検討まとめの作成にあたり、今回のワークショップを通じて皆さんと議論してきたプランの内容やいただいた意見等についてまとめてみました。

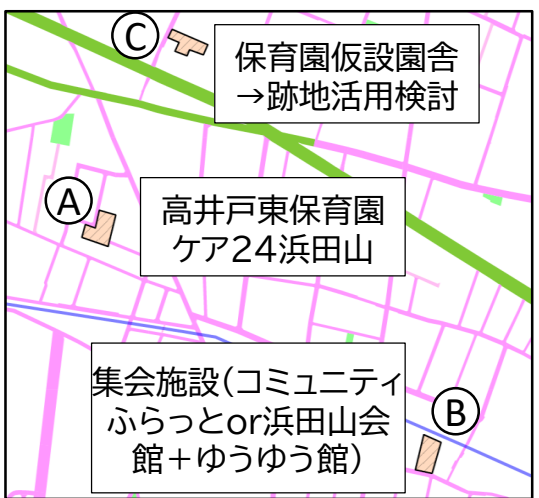
ワークショッププラン① (集会施設を集約するプラン)



- A.高井戸東保育園+ケア24浜田山**
高井戸東保育園を現地改築し、ケア24浜田山を併設施設とします。
- B.集会施設(コミュニティふらっとor浜田山会館+ゆうゆう館)**
ケア24浜田山移転後の跡地を改修し、ホールを維持した集会施設を整備します。
- C.保育園仮設園舎→跡地活用検討**
高井戸東保育園の仮設園舎として活用した後は、今後の行政需要を踏まえて有効活用策を検討します。

特長	<ul style="list-style-type: none"> ○ケア24浜田山が移転するため、現在よりも大きな集会施設を整備でき、「コミュニティふらっと」へ転用する、または高齢者専用の居場所の確保の観点から「浜田山会館+ゆうゆう館」としても活用できる可能性があります。 ○C地点の跡地活用について、幅広い検討が可能です。 ○ゆうゆう館の移転等に伴う代替活動場所が必要ありません。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ●ケア24浜田山の仮移転先の確保が必要です(3~4年程度)。 ●浜田山会館の改修工事に当たり、短期間の休館や工事音等の影響がでる可能性があります。 ●認可基準は満たしますが、保育園の園庭が現在の規模より若干小さくなります。(【有効面積】現在:約320㎡→整備後:約300㎡) ●浜田山会館(ケア24浜田山移転後跡地)を改修して整備することができるのは集会室2部屋程度であり、現在のゆうゆう高井戸東館の部屋数(3部屋)を整備することができません。
補足情報	<p>【浜田山会館を改修して新たに整備される集会室の面積(2部屋)】 計80㎡程度の集会室を整備可能 (例)約40㎡×2部屋 ※高齢者の活動場所として、浜田山会館の従来からある集会室も活用することを検討します。 <参考>現在のゆうゆう高井戸東館諸室の面積: (洋室1)57.4㎡ (洋室2)31.1㎡ (洋室3)18.9㎡ 計107.4㎡</p> <p>【ケア24浜田山の仮移転先】 ケア24浜田山管轄地域の区立施設 例:高齢者活動支援センター(高井戸地域区民センター内)等</p>

ワークショッププラン①に対するワークショップでの主な意見



意見の
まとめ

<A地点に関する主な意見>

- ケア24浜田山が浜田山会館にある必要はなく、高井戸東保育園との併設によって減る園庭面積が20㎡程度であることから、併設に肯定的な意見がありました。
- ケア24と保育園の親和性がないことや下高井戸に在住の方がさらに遠くなること、保育園の園庭が狭くなることに対して否定的な意見がありました。

<B地点に関する主な意見>

- コミュニティふらっととして整備した場合は多世代が使える集会施設として有効活用できることをメリットと感じる意見がありました。
- ケア24浜田山移転後のスペースをゆうゆう館として整備した場合は、高齢者専用施設を整備する必要性やゆうゆう館と浜田山会館を区別して運営することを疑問視する意見がありました。

<C地点に関する主な意見>

- 将来的な活用方法として、貸室ではなく、区民が自由に集えるようなフリースペースや子ども向け施設などを検討することを望む意見がありました。
- 現時点で活用方法を決めるのではなく、将来のニーズに応じて判断すべきとの意見がありました。

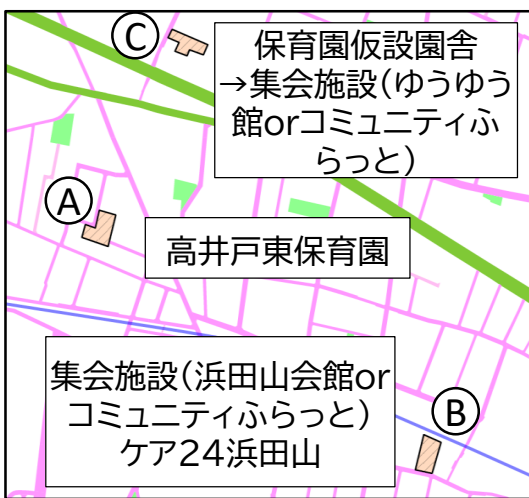
ワークショッププラン②（保育環境の充実を図るプラン）



- A.高井戸東保育園**
高井戸東保育園を単独で現地改築します。
- B.集会施設(浜田山会館orコミュニティふらっと)+ケア24浜田山**
集会施設にはホールを維持し、ケア24浜田山は現在地で運営します。
- C.保育園仮設園舎→集会施設(ゆうゆう館orコミュニティふらっと)**
高井戸東保育園の仮設園舎として活用した後は、集会施設を整備します。

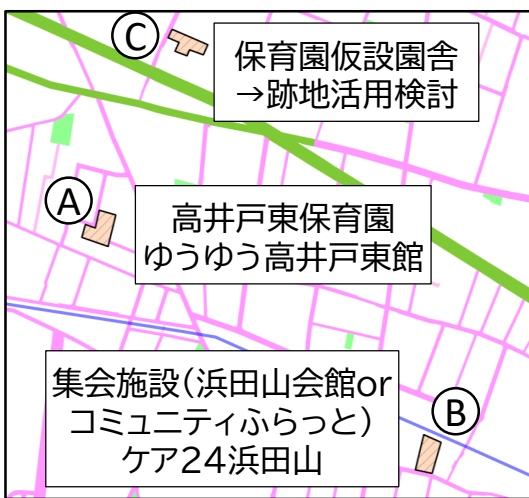
特長	<ul style="list-style-type: none"> ○高井戸東保育園は単独での改築となるため、現在と同等以上の園庭を確保することができます。 ○高齢者の居場所の確保の観点から、C地点に集会施設(ゆうゆう館orコミュニティふらっと)を整備します。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ●B地点の集会施設(浜田山会館orコミュニティふらっと)だけでは、現在の浜田山会館及びゆうゆう高井戸東館の利用者を受け止めきれない可能性があるため、C地点にも集会施設(ゆうゆう館orコミュニティふらっと)を整備することとしますが、整備されるまでに4～5年程度要します。 また、その期間、ゆうゆう高井戸東館利用者が浜田山会館等の近隣施設で活動を継続する場合、活動する諸室や利用時間等の調整を図る必要があるため、従来の施設利用者に影響が出る可能性があります。 ●C地点の跡地活用について、検討の幅が狭まります。
補足情報	<p>【C地点に集会施設が整備されるまでの高齢者の活動場所】 浜田山会館、高齢者活動支援センター(高井戸地域区民センター内)、コミュニティふらっと成田、コミュニティふらっと永福 等</p> <p>【C地点の跡地活用について(建築可能な延床面積:1,000㎡)】 ゆうゆう館(300㎡)を整備:残り700㎡の跡地活用を検討 コミュニティふらっと(600㎡)を整備:残り400㎡の跡地活用を検討</p>

ワークショッププラン②に対するワークショップでの主な意見



<p>意見の まとめ</p>	<p><A地点に関する主な意見></p> <ul style="list-style-type: none"> ○保育園は単独改築とすることで、園庭を十分確保できることをメリットと感ずるという意見が多くありました。 ○今後、少子化が進むことが想定される中で、保育園を単独で整備した場合、敷地を有効に活用できていないのではないかという意見がありました。 <p><B地点に関する主な意見></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ケア24浜田山が現在と同じ施設配置となることをメリットと感ずる意見がありました。 ○集会施設とケア24は目的が異なるため、併設のメリットを感ずないという意見がありました。 <p><C地点に関する主な意見></p> <ul style="list-style-type: none"> ○集会施設を整備することにメリットを感ずる意見がありました。 ○整備されるまでの4～5年間のゆうゆう高井戸東館利用者の活動場所を懸念する意見や、将来の活用方法が狭まってしまうため、現時点で活用方法を決定するべきではないとの意見がありました。
--------------------	---

ワークショッププラン③（現在の施設配置を維持するプラン）



- A.高井戸東保育園+集会施設(ゆうゆう館を想定)**
高井戸東保育園を現地改築し、集会施設を併設します。
- B.集会施設(浜田山会館orコミュニティふらっと)+ケア24浜田山**
集会施設にはホールを維持し、ケア24浜田山は現在地で運営します。
- C.保育園仮設園舎→跡地活用検討**
高井戸東保育園の仮設園舎として活用した後は、今後の行政需要を踏まえて有効活用策を検討します。

特長 ○A地点に整備する集会施設(ゆうゆう館を想定)の延床面積が減少するものの、最終的には全ての施設が現在と同じ場所に戻ることから、各施設の利用者への影響が少ないと考えています。
○C地点の跡地活用について、幅広い検討が可能です。

課題

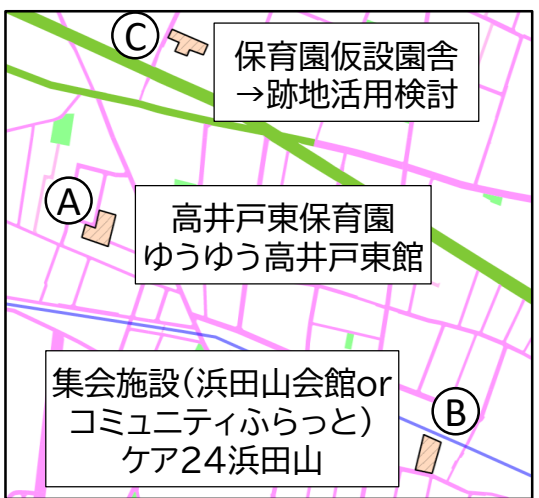
- A地点に整備する集会施設(ゆうゆう館を想定)の工事期間中(2～3年程度)、浜田山会館等の近隣施設でゆうゆう高井戸東館利用者が活動を継続する場合、活動する諸室や利用時間等の調整を図る必要があるため、従来の施設利用者に影響が出る可能性があります。
- 保育園に必要な諸室配置により、A地点に整備する集会施設(ゆうゆう館を想定)は2階となり、保育園と集会施設のそれぞれにエレベーター等の設置が必要となります。
- 認可基準は満たしますが、保育園の園庭が現在の規模より小さくなります。(【有効面積】現在:約320㎡→整備後:約260～300㎡)

補足情報

【A地点に整備する集会施設の諸室面積】
計90㎡程度の諸室を整備可能 (例)約30㎡×3部屋
<参考>現在のゆうゆう高井戸東館諸室の面積:
(洋室1)57.4㎡ (洋室2)31.1㎡ (洋室3)18.9㎡ 計107.4㎡

【A地点に集会施設が整備されるまでの高齢者の活動場所】
浜田山会館、高齢者活動支援センター(高井戸地域区民センター内)、コミュニティふらっと成田、コミュニティふらっと永福 等

ワークショッププラン③に対するワークショップでの主な意見



<p>意見の まとめ</p>	<p>< A地点に関する主な意見 > ○現在と同じ施設配置となることで利用者側の安心感をメリットと考える意見が多くありました。 ○ゆうゆう館を併設することに伴い、エレベーターを2つ設置することでコストがかかることや保育園の園庭が狭くなることを懸念する意見がありました。</p> <p>< B地点に関する主な意見 > ○ケア24浜田山が現在と同じ施設配置となることをメリットと感じる意見がありました。 ○集会施設とケア24は目的が異なるため、併設のメリットを感じないという意見がありました。</p> <p>< C地点に関する主な意見 > ○将来的な活用方法として、貸室ではなく、区民が自由に集えるようなフリースペースや子ども向け施設などを検討することを望む意見がありました。 ○現時点で活用方法を決めるのではなく、将来のニーズに応じて判断すべきとの意見がありました。</p>
--------------------	--

グループワーク①

ワークショッププランや主な意見の内容について意見交換しよう！

(例)

- ・ワークショッププランの内容について、疑問に感じる部分はないか。
- ・これまでのワークショップでの議論の内容が反映されているか。
- ・ワークショッププランの中で修正が必要な点はないか。
- ・ワークショップ参加者以外の意見を踏まえてプランに反映すべき点はないか。

など自由に意見交換しましょう。

グループワーク②

プランの決定や取組を進めていくに当たって、区に大事にして欲しいこと、留意してほしいことを共有しよう！

(進め方)

- ①ワークシートへの記入(10分)
- ②記入した内容をグループ内に共有(20分)

(参考)全体最適・長期最適の視点

- 公共施設は**区民共有の財産**であることから、**地域全体・区全体を俯瞰**して今後のあり方を考える必要があります。
- 新たに施設を整備する場合は、**現在の区民だけでなく、将来世代の区民も利用するもの**であることから、現世代はもちろんのこと、将来世代のニーズや財政上の負担等も考慮する必要があります。
- 将来的な財政状況を踏まえると、不安定な部分も多く、厳しい状況が続くことも想定されることから、**限られた資源・財源を最大限に有効活用**していく視点が欠かせません。



“全体最適・長期最適”

の視点を持ちながら、解決策を一緒に検討していきましょう。

ワークシート(記載例)

プランの決定や今後の取組を進めるにあたって、区に大事にしてほしいこと、留意してほしいこと

○大事にしてほしいこと

- ・集会施設を整備する際は、コミュニティふらっとであっても、ゆうゆう館であっても高齢者や多世代が使いやすい施設としてほしい。

(理由)

- ・今後、高齢者人口が増えていくことを考えると、現在のゆうゆう館の利用者だけでなく、今までゆうゆう館を使っていなかった高齢者にとっても居場所となるような空間が必要だと思うから。
- ・多世代が気軽に利用できる場所があると、暮らしやすいまちになると思うから。

○留意してほしいこと

- ・どのプランで決定したとしても、新しい保育園の園庭を十分に確保するなど、保育環境の充実に努めてほしい。
- ・仮設園舎の保育環境にも十分配慮してほしい。

(理由)

- ・保育園に通う子どもたちには、過ごしやすい環境でのびのびと育ててほしいと思うから。

休 憩

全体共有

車座になり、全5回のワークショップを通した感想等を1人ずつ発表しましょう！

(例)

- ・ワークショップに参加してみでの感想
- ・ワークショップへの参加を通じて考え方が変わった点

などをお話してください。

※はじめに「班とお名前」を言ってください。
※発表は1人2分程度とさせていただきます。

事務連絡

○アンケートの提出について

【インターネット】9月13日(金)までにご回答ください

【紙】本ワークショップの最後に回収いたします

区からのあいさつ